

次に掲げた史料は、大安寺縁起（醍醐寺本『諸寺縁起集』）の冒頭部分である。よく読んで、次の問いに答えよ。

【問一】

当該史料のなかで、聖徳太子の人物像について、どのようなことが記述されているか、具体的に述べよ。

【問二】

当該史料で大安寺の歴史について、どのように記述されているか、年代を追って概略を述べよ。



平成二十五年度 帝塚山大学院人文科学研究科日本伝統文化専攻

博士後期課程入学試験問題・小論文

【問題】

次の①～⑤の設問から、一題を選択し、別紙の解答用紙に解答せよ。その際、選択した問題番号を所定の欄に必ず記入すること。

選択する問題は、必ず、入学願書の「志望する特殊研究名」に記載した専門分野の問題を選択すること。

- ① 日本の仏教民俗信仰の特質について、具体例を挙げて分析せよ。(民俗学)
- ② 日本古代の伽藍配置の変遷について論述せよ。(寺院史)
- ③ 東大寺法華堂本尊の不空絹索観音像について最近の研究動向も踏まえ論述せよ。(仏教美術史)
- ④ 七、八世紀の対外関係における重要な事件・事項やその意義について論述せよ。(古代文化史)
- ⑤ 院政期の文化について具体例を示しながら略述せよ。(中世文化史)